

県議会議員

# あらい、絹世の磯っ子レポート

夢と  
希望のある  
神奈川を



<https://araikinuyo.jp/>

## 衆院選に続き今夏には参院選、民主主義について思いを致す機会では

2020年来、新型コロナウイルス感染症の世界的なまん延が続き、収束の見通しも立っていません。こんな中で対策に追われる政府の積極財政政策も続き、2022年度一般会計の当初予算案の歳出総額は過去最大の107兆円超となる見通しで、借金は膨らむばかり。神奈川県でも850億円の財源不足が見込まれています。

こうした中で昨年、強く感じたことは今日の政治の土台となっている民主主義の危うさということです。国の施策と国民の思い・要望の乖離ということです。18歳以下の子への現金10万円相当の給付について混乱が生じた事がいい例です。今回の10万円給付については、国民・自治体の声を受け方針転換を行いました。しかし、「それは適正か」という人々の常識と国とのズレがしばしばみられるということです。これは役所の「決まりや運営」と人々の要望とのズレと同じことではないかと思うのです。こうした中で、両者を結ぶもの、その役割を果たすものとして、国と人々の身近にある市町村を結ぶ都道府県の役割がますます重要になっている、ともいえると思います。昨年11月末の衆院議員選に続き今年夏には参院議員選が予定されています。1人に1票が託された選挙は一人ひとりが「民主主義とは」に思いを致す絶好の機会になると思います。

### 2021年2月号 (Vol.128)

#### 総額543億円、県の1月補正予算可決 = 飲食店などの時短への協力金の財源

新型コロナウイルス感染症の拡大傾向が続き、政府は1月7日に傾向が著しい東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、東京都の首都圏1都3県を対象に2度目の緊急事態宣言を発令（期間1月8日～2月7日、1月13日には大阪など7府県を追加）しました。拡大を止める対策として政府は都民・県民が不要不急の外出を自粛する（特に午後8時以降）とともに、飲食店、バー、カラオケ店などが営業時間の短縮要請に応じることがポイントとしています。これに沿って神奈川県では1月8日、総額543億2,610万円の1月補正予算案を県議会臨時定例会に提案し、可決されました。財源は国庫支出金が充てられています。今年度一般会計にかかわる補正予算はこれで9回目となります。このうち8回は新型コロナウイルス感染症の関連で、3回は飲食業などの営業時間短縮要請に伴う協力金にかかわるものです。

#### コトが言いたい

緊急事態宣言が発令されたことにより経済の先行きが一層不透明となっています。1月8日の臨時定例会で産業労働委員会より「緊急事態宣言に伴う事業者支援策の充実強化を求める意見書」が提出され、可決されました。これは、飲食店等に食材を納入している関連事業者等に対しても財政支援措置を講じること。また持続化給付金、家賃支援給付金については、雇用調整助成金と同様に再度の支給を受けられるよう制度を見直し財政支援措置を延長すること、などを要望したものです。